

# みどりの絆

緑崇流吟道緑水吟詠会会報

平成二十八年 四月

2016

NO.52

総本部会報編集局発行

緑崇流事務所

〒630-8135

奈良市大安寺西1-334-3

TEL/FAX.0742-35-6719

E-mail/m-net@mfv.biglobe.ne.jp

## 所感



宗家 箕輪 緑崇

穏やかな陽光を浴びて目に映るものすべてが眩く、新しい季節が訪れた喜びに様々な人々との繋がりを改めて感じる、新年度の始まりでございます。皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

何より昨年は、二代目宗家襲名披露並びに緑崇流吟道緑水吟詠会創立四十年記念祝賀会を盛会のうちに閉会出来ましたことに対して、ひとえに渡辺緑翔大会実行委員長と役員一同の方々をはじめ、皆様方の結束のもと並々ならぬご支援ご協力の賜物と感謝に堪えぬ次第でございます。こうして、新たな歴史を刻み始めたことに、さらなる目標に向けての第一歩であると位置付け、身の引き締まる思いでございます。さて、今年度がどういふ年度かを考えてみますと、文字通りオリンピック元年だといえますが、社会不安が増大する一年でもあります。世界経済などの不安で日本の将来は多難であります。一方では、国の行事である伊勢志摩サミットも開かれます。外国人観光客はうなぎのぼりで来日し、そこかしこで国際色豊かな光景に出会い戸惑って

しまいます。こういう時代になっても日本の良き伝統の大切なものは変わることはありません。近頃詩吟愛好者が緩いカーブで増加しています。お稽古ごとにはゴールはございます。一つでも多くの名詩と出会って頂き、先生方の熱意あるご指導のもと「吟は厳しく、会は楽しく」吟じて下さり長く寄り添っていただければ幸いです。

私は、これからも自分らしく真直ぐ真剣に向き合ってまいります。今後とも引き続きご厚情を賜りたく切にお願い申し上げます。最後に、皆さま方ますますのご活躍とご多幸をお祈りしまして挨拶とさせていただきます。

平成二十八年四月吉日

(自宅書齋にて)

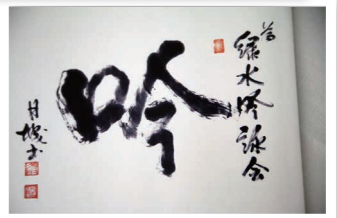
## 平成28・29年度 新役員

宗家会長	箕輪 緑崇
理事 長	渡辺 緑翔
副理事 長	宮原 緑晃
副会 長	浦田 緑鴻
常任顧問	中谷 緑洲
相 談 役	佐野 緑扇
相 談 役	中山 緑山
相 談 役	岩本 緑利
相 談 役	中本 緑山
相 談 役	河田 緑利
監 事	木原 緑侑
監 事	井内 緑叡
監 事	黒野 緑新
監 事	西岡 緑春
総務部長	神谷 緑妙
総務副部長	河江 緑耀
総務副部長	島袋 緑翔
事務局 長	松村 緑圭
事務局次長	浅野 緑昇
会報編集 長	米田 緑海
副編集 長	津村 緑秀
編集委員	宮内 緑郷
編集委員	團内 緑佳
編集委員	辻野 緑樟
編集委員	畑野 緑慶
顧問	島田 緑聲

特集  
二代目宗家箕輪緑崇襲名披露並びに  
会創立四十周年記念祝賀会  
一一〇八面

# 緑宗流吟道緑水吟詠会 二代目宗家箕輪緑宗襲名披露 会創立四十周年記念祝賀会

さわやかな風が吹く、秋たけなわの平成二十七年十月十一日(日)午前十一時よりシエラトン都ホテル大阪四階「浪速の間」に於いて同祝賀会が開催されました。



加藤緑絆さん徳岡江翔さんの司会で中山緑山先生の先導により会員全員で国歌斉唱、引き続き物故者追悼の黙祷、辻緑樟先生の先導により会詩合吟。



会員吟詠として平成二十六年年度財団法人吟詠コンクール優勝の西岡緑優さんが「両英雄」を吟じさせて戴きました。



実行委員長 渡辺緑翔先生の開式の辞で始まり、ご列席戴いた先生方へのあたたかいご支援とご厚情に、お

礼と二代目宗家箕輪緑宗と緑宗流吟道緑水吟詠会に末永いご指導とご鞭撻をお願いしました。



続いてご来賓の山岡哲山先生・矢間紫水先生・宮田実龍先生より二代目宗家箕輪緑宗先生に、期待と励ましの言葉と緑宗流吟道緑水吟詠会の益々の発展をと、ご祝辞を戴き先生方に花束を贈呈させて頂きました。



二代目宗家襲名披露のお祝いとして増田鵬泉先生、中尾仁泉先生の地吟、青柳芳寿朗先生に「祝賀の詞」の華麗な祝舞を舞って頂き、錦上花を添えて頂き、青柳先生には花束を贈呈させて頂きました。

祝電披露の後、二代目宗家箕輪緑宗先生がご列席戴きました先生方にて「緑宗」の名を継承していく決意を表明されました。



そして、当会よりお祝いとして渡辺緑翔先生より花束を贈呈しました。先生も胸がいっぱいのご様子でした。次に襲名披露吟詠として「山行同志に示す」を吟詠されました。

実行副委員長 宮原緑晃先生から今日の感激と感動を忘れずに二代目宗家箕輪緑宗先生を中心に会員一同団結して頑張っていきたいと思いと閉式の言葉がありました。



休憩後、津村緑秀さん徳岡江翔さんの司会で会創立四十周年記念祝賀会が開宴されました。実行副委員長



その姿は、先宗家の姿を彷彿とさせ、我々会員一同は、この日を心待ちにしておりましたので、会場は喜びと感動に包まれました。





実行委員一同

本日、弊会創立四十周年記念祝賀会並びに二代目宗家眞輪緑崇に、多数お運びをいただき、誠にありがとうございます。そして、来賓の先生方にご臨席いただき会員一同、心より感謝いたしております。また、平素より弊会の活動への深いご理解と多大なるご支援を頂き、このように曲がりなりにも記念祝賀会が執り行う事が出来ますのは、ご指導、ご鞭撻下さいました諸先生方と皆さまのお陰でございます。改めて感謝申し上げます次第でございます。

さて、先宗家眞輪緑崇が急逝しまして、足かけ十年という歳月が経ちました。私にとりまして、大きな存在で目標でもありました。在りし日の先宗家の吟そして、人柄を長く記憶に留めて頂くことになるのではないかと思います。思いもあり、緑崇という名前を継がせていただき、吟道において伝統をしっかり踏まえた上で継承していくことが、いかに大切な事か私自身、あくまでこの度の襲名はスタートに過ぎず、これから真の吟道修行の始まりだと実感しております。

ところで、戦後七十年を経て日本は平和で豊かな社会を築いてきましたが、特に今年様々な催しが行われ、様々な場所で戦争が語られておりますが、日本が歩んできた歴史

### 緑崇流吟道緑水吟詠会二代目宗家眞輪緑崇襲名披露 並びに会創立四十周年記念祝賀会 宗家ご挨拶

と、どう向き合うべきかの重要な時でありま。世界情勢も混沌とする中、日本の至るところに海外からの親日家で溢れかえっておりますが、日本の歴史や伝統文化を学ばずば学ばず「和」の精神の素晴らしさに感嘆し、ほとんどの外国人が日本を好きになって帰って行かれます。近年では我々日本人にとっても、難しく？と、敬遠されがちな詩吟と言う伝統文化を、身近に感じて貰えるよう、時代の変化に対応し、吟道の発展に精進してまいりたいと思っております。

私は先宗家から緑崇流吟道緑水吟詠会を引き継ぎ、本日ここに襲名という節目を迎え、「限りなき前進」を信条に、より一層の努力を重ねて参ります。何卒今後の緑崇流の歩みを五十年、六十年と続けて行くことが出来ま。すように、これまで以上に末永く見守っていただき、変わらぬご指導ご鞭撻と暖かいご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。最後に皆さまのご健康とご活躍、また、さらなる吟界の発展を心よりお祈りいたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

平成二十七年十月十一日

眞輪 緑崇

若杉緑高先生の吟は厳しく会は楽しく限りなき前進をモットーに絆を深めて参りますと開宴の言葉で始まりました。



引き続き、井原水産(株)井原慶児社長からお祝いのことばがありました。先代宗家より公私共々親しくお付き合いがあり、二代目宗家が新たな境地を発揮されると、期待の言葉がありました。

続いて先代宗家が中心になり、結成された「02絆の会」の鳥居翔鵬会長からお祝いの言葉がありました。引き続き「02絆の会」の皆様による先代宗家作の「絆」の祝吟が披露されました。



二代目宗家眞輪緑崇先生とご来賓の先生方とでヨイショ・ヨイショの掛け声で鏡開きが行われました。石川文吾先生のご発声で乾杯の後、歓談・会食が始まりました。清興として津軽三味線奏者として全国で活躍されている若手奏者徳田恵美さんのチーム恵美乃助が「津軽じよんがら節」等を演奏され、心に響く感動をもらいました。続いてキーボード・ボーカリストマイケル・リーさんの登場。語りかけるような歌声に魅了された事でしょう。渡辺緑翔先生とのデュエットも楽しかったですね。

締めくくりには大会副会長浦田緑鴻先生のユーモアたっぷりのお開宴の辞で祝賀会が盛会のうちにお開きとなりました。



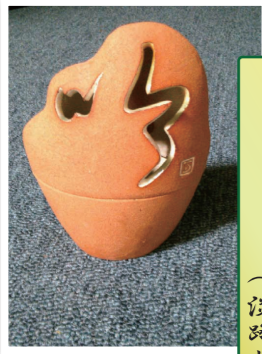
ご来賓の先生方と会員一同が一体となつて、二代目宗家眞輪緑崇襲名披露会創立四十周年記念祝賀会が始まり、厳肅さのあと和気藹々とした楽しい雰囲気終始包まれていました。



(編集委員 文・奥村 緑星  
レイアウト・津村 緑秀)

浪速の間に二代目宗家晴礼姿  
(百樂)

香に乗って天まで届けこの宴  
(松原)



宗家襲名香炉のかおり一つの輪  
(淡路トマト)



新しき宗家のもとにはげむ吟  
(川西)

緑水の晴礼着模様や菊日和  
(曙)



吟のご縁長寿の妙薬です  
(甲南山手)



晴礼やかな襲名の宴越き声援  
(羽曳野)

吟道をきわめる決意酒をのむ  
(大宮)



継がれゆく吟魂の道菊並る  
(秋篠)

菊の日に姿重なる襲名披露  
(瑞光北)



天高く凜しき姿襲名の宴  
(ゆる友)

品格と笑顔華やぐ佳き日なり  
(新森)



緑崇の明るい希み春を生む  
(みつわ)



さわやかに襲名披露真善美  
(新北野)



二代目と共に歩まん限りなく  
(十三北野)



緑をす四十年の苔むして  
(まどか)



四十周年吟心継いで緑栄え  
(南方)



めでたしやみを祝福一同に  
(大和)

緑崇の始終(四十)秀明(襲名)響くなり  
(五領)

二代目の羽織姿にホレホレと  
(クローバー)



青年宗家の志  
脈々たる傳統今猶存す  
四旬一夢の中

青年宗家志  
脈脈傳統今猶存  
四旬一夢中  
(東山)

### 平成 27 年度昇段テスト並びにコンクール大会

高槻現代劇場 平成 27 年 4 月 12 日 (日)

#### 《入賞者の歓びの声》

##### 新人の部 優勝

曙支部◇菊田正春



あるサークルの例会で宮原緑晃先生の詩吟を拝聴して、その素晴らしさに魅了され、教えを乞うことになりました。

最近、耳にする歌の多くはメロディ中心で歌詞は二の次にされている様に思えてなりません。詩の美しさやメロディに載ってこそ名曲と言えるのでは無いでしょうか。その点、漢詩の吟詠は、詩の内容、美しさ、節が相俟って聴く人を引き付けているのだと思います。中学や高校で習った詩人の名前が次々に現れ、その時に覚えた詩が蘇って来ます。また初めて知る言葉の数々に、今更な

##### 一級の部 優勝

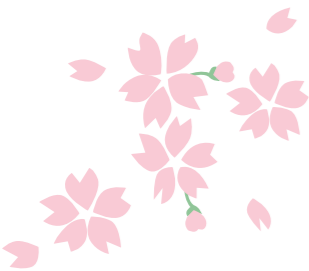
曙支部◇久徳佳子



がら自分の不勉強を恥入る事も再々です。先輩の吟を聴いていると味わいが感ぜられ、ひたすら声を出すことだけを考えている様な自分に厭気を覚えます。初めて舞台に立った時、出だしの次の句で絶句し、失格となった事は苦しい思い出として、何時までも忘れる事が出来ません。ただ「百の練習より一度の本番」と言われる様に、練習だけを積んでもなかなか上達は難しく本番で恥をかいてこそ上達するのだと、自分に言い聞かせ、これからも努力するつもりです。いつまでも続けられるか分りませんが、声が出る限り精進します。

この度の昇段テスト一級の部で優勝させて頂きありがとうございます。例えば二十年ほど前に詩吟と言う言葉さえ知らなかった私が、友達の誘いで習う事になりましたが孫の世話のため止めてしまいました。しかし孫も成長し余裕が出来たところで詩吟が忘れられずもう一回勉強したい気持ちになり、近くのコミュニティで聞いたところ丁度時間的に合う教室があると聞き見学に行き、その場で入会を決めたのですがそれが宮原緑晃先生の教室でした。宮原緑晃先生の優しく的確なご指導のもと、練習をさせて頂き、お陰様で優勝出来た事を感謝しております。詩吟の難しさもこれからだと思いますが、少しずつ勉強して頑張っ

この度、昇段テスト三段の部で優勝させて頂きまして大変嬉しく、有り難く思っております。若杉緑高先生のご指導の下、先輩の方々の励ましのお陰だと感謝の気持ちで一杯でございます。詩吟にご縁を頂いて六年目になります。日頃、若杉緑高先生より発声指導を頂いていますが、なかなか思うように声が出ません！コンクールの時期が迫って来ると、いつも焦りが出て満足の行く結果が出ませんでした。この度、やっと若杉緑高先生に喜んで頂ける事が出来たのではと一人満足している次第です。詩吟とのお縁ですが、当時、私は「カラオケ」が大好きで、よく歌



#### 二代目宗家襲名並びに 会創立四十周年記念祝賀会を終えて



大会実行委員長  
渡辺 緑翔

この度、会創立四十周年と二代目宗家襲名がつつがなく終えましたこと実行委員を賜りました私と致しましては心よりホツとしております。これも偏に会員の皆様と役員の方のみなみなならぬご努力のお陰様と心より感謝を致しております。

先宗家のご逝去されてから足かけ十年、これからの十年は二代目宗家におかれましては老齢化社会 若い方へのアプローチ等々大変ご苦勞の多い事となるでしょうけれど二代目は若き力と先宗家ゆずりの強い意思をもって私達を見守って頂ける事と信じております。私達会員は若い二代目宗家のもと「限りなき前進」を胸に和をもってこの吟の道を一緒に歩んでまいりたいと存じます。最後になりましたが皆様本当にありがとうございました。

当会に多大な貢献をされた須磨緑泉先生（最後のお姿）を囲んで



須磨緑泉先生  
病を押してのご出席有難うございました。  
二代目宗家の襲名を見届け旅立たれました。  
きつと黄泉の国で先宗家と酒を酌み交わしながら今日のことを話されておられることでしょう。  
ご冥福をお祈りいたします。

#### 会創立四十周年記念 在籍表彰並びに感謝状授与

##### ■表彰状授与者（入会順）

在籍四十年以上

（現在も支部に出席の方）

- 小谷緑楓 寺元緑俊 津熊緑岳
- 岩田緑博 岸 緑汀 藤江緑令
- 宮武緑樹

在籍三十五年以上

（現在も支部に出席の方）

- 島田緑丘
- 在籍三十年以上
- （現在も支部に出席の方）
- 大岩緑園 木下緑鋒 津村緑秀
- 福永緑獅 西田緑桐 若杉緑笙
- 芳田緑丞

##### ■感謝状

総本部担当講師

大範師

- 中谷緑洲 佐野緑扇 渡辺緑翔
- 宮原緑晃 若杉緑高 中山緑山
- 総師範
- 畑野緑慶 岸辺緑煌 黒澤緑陽
- 津村緑胤 松村緑圭 山戸緑晨
- 岩本緑利 浦田緑鴻 黒野緑新
- 西岡緑春 赤川緑瑛 辻 緑樟
- 福本緑景 木原緑侑
- 上席師範
- 米田緑海 河田緑峰 井内緑叡
- 松野緑扇

##### 三段の部 優勝

瑞光北支部◇加賀はつえ



# 平成27年度昇格者並びに六段・新緑号取得者



六段  
島田 緑 皓



八段総師範  
木原 緑 侑



九段総師範  
津村 緑 胤



安田 緑 岑



石川 緑 誓



三谷 緑 茜

### 《新緑号》

恒例の平成二十七年上位昇段・昇格者及び新緑号名刺交換会が、平成二十七年六月二十三日（火）午後八時より十三福祉会館で行われました。箕輪緑隆会主会長の挨拶、渡辺緑翔理事長の祝辞の後、緑号の心構えについて宮原緑晃副理事長、緑の会について辻緑樟幹事長より説明があり、名刺交換会となりました。昇段・昇格及び緑号を取得された研鑽をねぎらう祝宴が、浦田緑鴻副会長の乾杯の発声で始まり、しばし歓談のなか、中谷緑洲大範師のお祝いの言葉をいただき、上位昇段・昇格者の自己紹介、新五段新緑号となられた皆さんの自己紹介がありました。続いて佐野緑扇大範師、中山緑山相談役からねぎらいの言葉をいただき、代表で石川緑誓さんが新緑号の決意表明をもって閉会となりました。

### 名刺交換会

《四段 新担当師範号取得者》		雅号	名前	支部	担当師範
加賀 梢 高	はつえ	瑞光北	若杉 緑高		
芝田 善 叡	新一郎	五 領	井内 緑叡		
田野 庄 晃	庄藏	曙	宮原 緑晃		

《特別表彰》

# 平成27年度昇段テスト並びにコンクール大会

高槻現代劇場 平成27年4月12日(日)



七段の部 優勝  
東山支部◇福永 緑 獅

この度は七段の部で優勝させて戴き有難うございました。まだまだ、未熟な私をこれまで長い事見守りご指導戴いた黒澤緑陽先

謡曲を人前で歌っていました。若杉 緑高先生の奥様の緑笙さんがスカウトして下さり「是非詩吟を一緒にやりましょう」とのお誘いで始めました。最初の頃は「これは、私には無理だ」と思いましたが、お稽古を重ねる内に大きい声で詠う事でストレス発散と詩の美しさに惹かれて行きました。

生には感謝しかありません。これからが本当の意味での詩吟人生の第一歩だと思っております。今年には会創立四十周年という記念の年、実を言いますと、わたしにとっても、メモリアルイヤーでして、吟歴三十年還暦、未年の年男のトリプルそろい踏みと、記念の年に優勝という二文字を付け加えさせて戴き、本当にありがとうございます。思い起こせば、会創立十周年の記念大会から四十周年を向かえ、三十年の長きに渡り詩吟を続けてこれたのも、奥菌緑水宗家、箕輪緑崇宗家、二代目箕輪緑宗家と素晴らしい三宗家の、緑水会（会員）に対する深い愛情と、吟に対する厳しさを教えて戴いた事、そして愉快的仲間たちとの出会い、共に学び、共に遊びと色々な経験させて戴いたからだと思います。これからは、会の益々の発展のために微力ながらお力添えが出来るよう精進を重ねて参りたいと存じます。



優 勝 菊田 正春	優 勝 柳井 孝三	優 勝 柳井 孝三	優 勝 松本 緑遥
準 優 勝 西河 俊一	準 優 勝 神崎 安雅	準 優 勝 神崎 安雅	準 優 勝 加賀山 緑豊
準 優 勝 西尾 康子	準 優 勝 西尾 康子	準 優 勝 西尾 康子	準 優 勝 林 緑寿
優 勝 加賀はつえ	優 勝 田野 庄藏	優 勝 田野 庄藏	優 勝 津村 緑秀
優 勝 加賀はつえ	優 勝 石川 洋翔	優 勝 石川 洋翔	優 勝 垂水 緑花
優 勝 徳岡 江翔	優 勝 徳岡 江翔	優 勝 徳岡 江翔	優 勝 中塚 緑庵
準 優 勝 福本 瑞翔	準 優 勝 福本 瑞翔	準 優 勝 福本 瑞翔	準 優 勝 福永 緑獅
準 優 勝 安田 稜翔	準 優 勝 安田 稜翔	準 優 勝 安田 稜翔	準 優 勝 木下 緑鋒
上位入賞 安田 利翔	上位入賞 安田 利翔	上位入賞 安田 利翔	準 優 勝 小谷 緑楓
上位入賞 安田 利翔	上位入賞 安田 利翔	出吟者最高齢 藤江 緑令	

## 27年度昇段テスト並びにコンクール大会成績

### 第40回 府連出場者決定兼競吟大会

高槻現代劇場 平成 28 年 1 月 10 日 (日)



#### 府連出場者決定兼 競吟大会成績

優	優	準	準	四	五	上	上	上	上	入	入	入	入	入	入	入
勝	勝	々	々	位	位	位	位	位	位	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞
加藤 恭子	青野 治子	松本 八重子	浅野 滋夫	福永 直人	木下 真次	徳岡 知江子	西部 重世	辻 孝彦	加賀 はつえ	小谷 勝彦	福本 侖	片山 美都子	垂水 時子	遠藤 靖子	織戸 敏昭	安田 厚子

#### 九段に昇格して

みつわ支部 ◆ 津村 緑胤

この度は、二代目宗家箕輪緑崇襲名披露並びに会創立四十周年記念祝賀会の年に九段に昇格して頂き誠にありがとうございました。

思い起こせば、四十年前、初代箕輪緑崇先生の南方教室が開かれていました其の時、町会長の紹介で詩吟の詩も知らぬうちに門下生になりました。詩吟を通じていろんな事をご指導頂き感謝無量でございます。

また、福沢諭吉先生の「花を惜しむ」の詩には



半生の行路 苦辛の身  
幾たびか春を迎え  
還 春を送る

この詩には、わが身にしてみるものがございます。

今後、一日一日を大切に思い、吟の道に会員皆様と共に励んで行きたいと思っております。

#### 総師範のお免状を戴いて

治宮支部 ◆ 木原 緑侑

この度は総師範を頂戴するお許しを戴きまして誠に有難うございます。これも偏に宗家先生をはじめ担当講師の渡辺緑翔先生、又諸先輩先生方のお陰と厚くお礼申し上げます。

総師範への道のりは長い様で短くまだまだ先の事に思っています。月日の経つのは早いものです。ふり返れば血気盛んな若さの勢いで唯々吟の向上のみを思って又、素晴らしい師を求めて遠方を承知の上で緑崇流の門を叩いた事間違いで無かつたと確信して居ります。

この度の総師範を戴くと言う大きな節目の年を迎え今思うことは、その肩書に恥じない行動は勿論吟においても日々精進して行かなければと決意を新たにしているところでございます。

遠方な為私に私に本部の先生方にはご迷惑をお掛けしている事、本当に申し訳なく思っています。

色々な方々のお陰でこの吟道を歩かせていただいている事、本当に有難く感謝の気持ちでいっぱいです。

今後家族の事を大切に楽しく吟を楽しんで参りたいと思っております。

#### 緑号を戴いて

十三北野支部 ◆ 三谷 緑茜

この度、緑号を戴きまして、とても嬉しく、ありがたく思っております。初めて渡辺緑翔先生の吟をお聞きした時は素人ながら感動してしまい、私も吟じてみたいと空恐ろしい事を考えてしまいました。

しかし、吟と出会いまして早いもので十年。吟は全く伸び悩み、未熟なままで、落ち込みながらの毎日です。それでも、ここまで続けて来られたのも渡辺緑翔先生、十三北野支部の先生方、そして先輩方のおかげです。

気が付けば、心休まる居心地の良い、楽しさに甘えてしまっていました。

吟も会も楽しく? になっていました。申し訳ありません。

今さらですが、初心に戻って、もっと「緑」の文字を心に刻んで、自覚を持って少しづつでも前に進んでいきたいと思っております。

そして、いつかは先輩方のように力強くやさしい、心に沁みる吟が出来ればと高い望みをもって頑張っていきたいと思っております。

これからも、どうぞ宜しくお願い致します。

#### 最高齢者表彰

甲南山手支部 ◆ 藤江 緑令

この度、出吟者最高齢と云う事でメダルの賞を頂きました。

宗家先生そしてご指導下さいました諸先生方に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

起こしますと、私が吟で松川緑延先生(佐野緑扇先生のお母さま)に御教え頂きましたのが五十歳の時、二人の娘が学校勤めでしたので孫守りの多忙な日暮しをしている時だと記憶しております。

松川緑延先生の出会いにより夜の吟の勉強仲間に入れて頂き、吟のお友達にも恵まれ楽しい勉強をさせて頂きました。

そして、三十年余り八十七歳になりました。松川緑延先生から佐野緑扇先生に引き継がれ現在もお世話になっております。

吟の道は遠くて深うございます。なかなか上達でき難いと思いつらお勉強させて頂いております。どうぞ宜しくお願い致します。



### 公民館の放課後教室「詩吟に挑戦」

日時：平成27年10月21日（水）  
場所：五領公民館



地域のボランティア団体が毎月一回開催している高槻市上牧小学校放課後教室（スイスイクラブ）が五領公民館との共催行事として行う事になり五領公民館を使用しているサークルから選出されました。

担任講師の井内緑叡先生に依頼があり、公民館の放課後教室「詩吟に挑戦」のタイトルで上牧小学校の低学年を中心とした六十七人の子供を二班に分けて五領支部のメンバーと共に指導しました。詩吟とはどんなものか、子供が理解できるように紹介し、合吟で「富士山」を吟じました。子供向けにテキストを作成した松口月城作「兎と亀」で練習し全員で最後に合吟しました。子供たちの反応は七〇％以上で楽しかったと好評で、独吟で発表する子供もあり吸収力には感心させられました。引率の先生方も子供達に負けずと大きな声で練習されていました。

一人でも多くの人が詩吟に興味を持って、詩吟を始めたいと思えます。（文 奥村緑星）

昨年引き続き、井内緑叡先生の「会員の皆さんが一回でも多く、人前で吟じる事を経験し、大会に於いて自分の実力を発揮できるように」との想いで、おさらい会が始まりました。

音響は奥村緑星、前川哲男が担当しました。十五名三十九曲（府連、吟剣、緑号）の吟詠は、誤読、タイムオーバー、音程ハズレ有り、また、たん詰まりによる絶句など、にぎやかな、あつという間の楽しい二時間半でした。

その後、六時から、毎年行っている「五領支部、川西支部合同忘年会」へと展開。酒宴に入ってから、各自共、今年の良かった事や反省する事や来年への抱負など大いに語り合い、披露しながらの中、皆さんの「明年の活躍」を祈りつつ散会しました。（文 宮内緑郷）



日時 平成27年12月13日（日）  
場所 五領公民館

### 第二回井内緑叡おさらい会

### 三味線と仲間達



川西支部◇大海大叡

張り、アアアなんてこんなものはじめたんやろう... 悩みなながらも名取になれました。こんなでいいんやろうか？ 準師範・師範と試験を受け早や十五年が過ぎようかとしています。



三味線との出会いは無料演奏会を聴きに行ったのがきっかけでした。隣に座って居た女性に声をかけられ勧められるがままに見学へ、その日の内にお稽古に通いますと云って今に至っています。詩吟も同様です。一年間は民謡のみを習っていたのですが、三味の音色にひかれやりたくなり姉を誘ってやり始めました。この楽器三本の絃だけで音を表現するんですよネエー、難しいのなんので、持ち方から大変でした。膝から滑り落ちるのをギョツと押え込んで右手の撥も指の間にしっくりいかず、左手の棹のツボもズレると音程が合わず唄う人の足を引

詩吟に誘った仲間達も全員師範となり高齢者施設でのボランティア活動、一年一回のおさらい会をやっています。プロの様な（厚かましい！）行きませんが元気な仲間です。何かありましたらお声かけ下さい。

### 第40回 緑号・師範之部 競吟大会

高槻現代劇場 平成28年2月11日（祝）



【師範之部 府連出場資格者】



【緑号之部 入賞者】



懇親会

府連出場資格者

松野	井内	米田	木原	福本	辻岡	西村	松村	中山	若杉	神谷	若杉	柴田	浅野	中塚	後藤	小谷	青野	松永	福永	宮内	辻水	垂水	島田	石川	島田	加賀	津村	松本	加藤
緑焔	緑叡	緑海	緑侑	緑景	緑樟	緑春	緑圭	緑山	緑高	緑妙	緑笙	緑翁	緑昇	緑庵	緑川	緑楓	緑飛	緑永	緑獅	緑郷	緑鯉	緑花	緑聲	緑誓	緑皓	緑豊	緑秀	緑遥	緑絆

### 緑号・師範之部 競吟大会成績

優勝 加藤 緑絆  
準優勝 松本 緑遥  
準優勝 津村 緑秀  
四位 加賀 緑豊  
五位 島田 緑皓  
上入賞 石川 緑誓  
上入賞 島田 緑聲  
上入賞 垂水 緑花  
上入賞 辻水 緑鯉  
上入賞 宮内 緑郷  
賞 福永 緑獅  
賞 松永 緑飛  
賞 青野 緑永  
賞 小谷 緑楓  
賞 後藤 緑川  
賞 中塚 緑庵  
賞 浅野 緑昇  
賞 柴田 緑翁  
賞 若杉 緑笙  
賞 神谷 緑妙



# ニューズ東西南北

## 大会記録

### 大阪府吟剣詩舞道総連盟

#### 第39回全国吟詠コンクール大阪府北連合大会

一般二部

7位 松本八重子

一般三部

準優勝 米田宇一 5位 若杉 高

16位 石川洋子

#### 第39回全国吟詠コンクール大阪府大会

一般一部

8位 津村真紀

一般二部

上位入賞 西岡悦子・辻 廣一・木下真次

一般三部

5位 石川洋子 7位 若杉 高

上位入賞 奥村雅生・松野節子・木原恵子

### 日本吟剣詩舞振興会

#### 第39回全国吟詠コンクール近畿決勝大会

一般二部

入賞 西岡悦子・辻 廣一

一般三部

上位入賞 木原恵子(決勝進出:8位)

入賞 石川洋子

#### 第5回全国ジュニア・シニア

##### 燦爛優勝者決定詩吟大会

(シニアの部)

愛連入賞 中山孝彦

#### 第44回日本クラウン近畿コンクール大会

入賞 石川洋子(全国大会へ)

### 大阪府詩吟連盟

#### 第57回第一部吟士権者決定詩吟大会

(一般の部)

〈決勝進出〉11位 津村真紀

愛連入賞 加藤恭子・石川洋子・木下真次  
青野治子・宮内幸夫

#### 第51回第二部吟士権者決定詩吟大会

(指導者の部)

愛連入賞 西岡緑春・福本緑景

### 愛国詩吟総連盟

#### 第70回第一部吟士権者決定詩吟大会

(一般の部)

入賞 宮内幸夫・加藤恭子・石川洋子  
津村真紀

#### 淀川 詩吟連盟第41回吟士権者決定詩吟大会

東淀川

一部

上位入賞 徳岡知江子

二部

準々優勝 福永直人

上位入賞 松本八重子・安田厚子

三部

準優勝 浅野滋夫 6位 團 幸子

上位入賞 福本 侑

#### 第43回高槻市吟剣詩舞道決勝大会

独吟の部 一部

4位 中塚宏輝

独吟の部 二部

準々優勝 島田喜久子

上位入賞 大海告子

連吟の部

準優勝 島田久美・大海告子

準々優勝 長尾チヨ子・片山美都子

#### 第7回藤井竹外奉賛全国吟詠大会

優勝 加藤恭子

準優勝 石川洋子

5位 津村真紀

上位入賞 島田久美・木下真次・宮内幸夫  
後藤利夫

この度、第七回藤井竹外奉賛全国吟詠大会に於いて、優勝を戴くことができました。これも宗家箕輪緑崇先生をはじめ、担当師範の渡辺緑翔先生、諸先生方の熱心なご指導と、会の皆様の応援があつての事と深く感謝致しております。

私がこの大会に出場させていたただくのは、今回で三回目でした。一回目は、決勝で失敗し上位入賞、二回目は、順位を上げ準優勝、そして今回、できれば優勝したいという思いがありました。でも、まだか支部の福本瑞翔さんが、私のトロフィーを持って帰るためとお忙しい中、応援にかけつけて下さり、母や妹家族も来てくれたこともあって、できればではなく、絶対に優勝するんだという思いに変わっていきました。



治宮支部◇加藤恭子

### 第七回藤井竹外奉賛 全国吟詠大会 優勝

日時 平成27年11月29日(日)  
場所 高槻現代劇場 中ホール

私の周りには、会の皆様をはじめ、いつも気持ちよく送り出してくれる夫や息子たち、着付けをしてくれる妹、吟の大先輩の母などの家族がいます。いつもたくさんの人たちに助けてもらい、支えてもらって吟を続けられていると改めて実感した優勝となりました。これからも感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 第29回 関西クラウン吟詠家 ジョイントリサイタル

日時 平成27年8月23日(日)  
場所 あましんアルカイックホール

#### 花鳥風月 花影の人(若き吉田松陰の恋)

(当会より出演者)

辻 緑樟 加藤緑絆 西岡緑優  
木原緑侑 渡辺緑翔 宮原緑晃  
中山緑山 宮内緑郷

(敬称略 出演順)

### 第六回

#### 愛連吟詠フェスティバル

日時 平成28年3月6日(日)  
場所 あましんアルカイックホール

(当会より出演者)

西岡緑優(敬称略)

### 【編集後記】

宗家襲名披露と会創立四十周年祝賀会の特集が中心となりましたが、レィアウトには大変苦労しました。(海)